

浦安っ子を支える地域の力

子どもたちは、地域社会とのつながりや信頼できる大人との多くの関わりを通して、心豊かにたくましく成長していきます。今回は、子どもたちの成長を支えている地域の方による活動について、「ひと」にスポットをあて、紹介します。

学校の学びを支える

地域とともに歩む学校を目指して

地域ボランティアによる学校支援

幼稚園・認定こども園・保育園、小・中学校では、読み聞かせなどの学習支援や花壇などの環境整備、通学路の見守りなど、地域の方々によるさまざまなボランティア活動が行われています。浦安小学校では委員会活動やクラブ活動、部活動などで、地域の方と児童が交流を深めながら、子どもたちの育ちと学びを支えています。



ふれあい農園 秋の収穫祭

インタビュー 浦安離子保存会

平成14年より浦安小学校の子どもたちに浦安離子を教えてきました。お離子は心をひとつにすることが大切ですので、礼儀作法についても指導しています。礼儀作法を学ぶことはなかなか難しいようですが、高学年の児童が手本となり、4年生も一生懸命練習に取り組んでいます。お離子を通して、浦安をさらに好きになってもらえるとうれしいです。



インタビュー 生涯大学浦安会

「植物を育てる楽しさを子どもたちに伝えたい！」という思いから、年間を通して「育てる委員会」の活動を支援しています。10月には、育てる委員会で育ててきた落花生を収穫しましたが、子どもたちや教職員の皆さんと収穫の喜びを分かち合うことができました。現在は卒業式に向けてサクラソウを育てています。子どもたちが楽しそうに活動している姿が、次の活動への意欲へとつながっています。

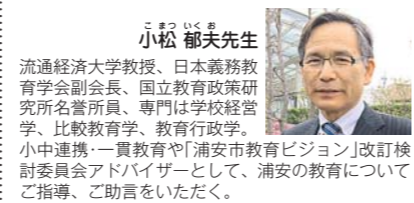


専門家に聞く 教育コラム

地域の教育力を高めるために大切にしたいこと

学校は子どもが効果的に学べるように、知識や情報などを体系的に教育課程として編成します。しかし、現代社会では学びの機会や内容はあらゆる場所に息づいています。生きる力に関わる学びのチャンスは、家庭や地域の方により多く見つかる場合が少なくありません。そのためには、第一に、見逃しがちな文化財や

人々の存在を発掘し、その意義や価値などをわかりやすくPRすることが重要です。第二には、持続可能な方法で地域の教育力を教材にまで整備することが大切です。そして第三には、楽しみを感じ、できるだけ協働性を高めて、関わる人が一緒に絆を結び、強固にしているよう、将来への期待や希望を描く



ことが大切ではないでしょうか。浦安は、夢を感じられる最高の資源と人々が集っている街です。ふるさと浦安を愛する心が支えになってくれます。

学校と地域や保護者のパイプ役 となって

学校支援コーディネーター

学校支援コーディネーターは、学校と学校を支援するボランティアをつなぎ、連絡、調整していく役割を担っています。浦安市では、平成23年度より配置を進め、今年度は、42名の学校支援コーディネーターが市内の小・中学校で活躍しています。



インタビュー 日の出中学校支援コーディネーター 室井 彰子さん

日の出中学校区は、サポーターズクラブの皆さんが企画しているキャリア教育「働クエスト」や地域の皆さんによる「ふれあい農園」など、地域の皆さんや保護者の皆さんの学校への支援が大変活発な地域です。学校支援コーディネーターとして、今年度は、2年生の職場体験受け入れ先の開拓・調整や、3年生のマナー講座、未来塾等のお手伝いをさせていただきました。学校の二

ズを知ることから始め、保護者の皆さんや地域の皆さんにも、学校支援コーディネーターを知って頂けるように、日頃よりお話をさせて頂いています。今年でコーディネーター3年目となりますが、活動を通して、生徒の皆さんの明るい笑顔に接することは最上の喜びであり、幸せ、やりがいを実感しています。



中学生の学習をサポート

青少年自立支援未来塾

学習習慣の定着や学力の向上を図ることを目的に、教員OBや大学生などを講師（学習支援員及び未来塾サポーター）として、市内の全中学校で青少年自立支援未来塾を実施しています。



インタビュー 浦安中学校未来塾学習支援員 岡 絵理先生

中央図書館で週に1回2時間、中学3年生21名を講師2人で担当しています。当初、学校とは違う環境に子どもたちが戸惑っているようにも見えたので、できるだけ気軽に明るい雰囲気の中で学習を進められるように心掛けました。主に数学のプリント演習が中心ですが、学校の授業の補習や定期試験の対策など、教科や学習内容を限定せず学習をサポートしています。入試までの残り期間、さらに子どもたちが意欲的に学習を進められるよう働きかけ、学力の向上につなげたいと思っています。



地域ぐるみで行う科学の教育 世界一行きたい科学広場 in浦安2017

東海大学附属浦安高等学校・中等部で開催された世界一行きたい科学広場は今年で6回目を迎えました。教育団体や企業をはじめとする50近くの団体が科学に関する出展をしました。



大会副会長 NPO法人ガリレオ工房理事長 滝川 洋二先生のお話

専門家が分かりやすく紹介する科学イベントは、学校だけでは経験できない広がりや深みを持っています。今回のような科学イベントが広がったのは、1992年に始まった「青少年のための科学の祭典」がきっかけです。楽しみながら知識が豊かになると共に、学ぶ意欲の育つイベントで、地域ぐるみの教育力が広がっています。学びの達人になった子どもたちが、次の時代を切り開いてくれることを期待しています。

